

地方独立行政法人府中市病院機構
平成27年度業務実績に関する評価

平成28年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の平成27年度業務実績に関する評価を行った。

評価については、年度計画に定められた事項ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、病院機構の自己評価を参考に評価委員相互で意見交換を行い、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、項目別評価の結果のみならず、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の具体的取り組みをはじめ、年度計画の達成状況及び平成27年度決算の状況等にも注目して、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、病院機構におかれては、地域に必要な医療の提供を図るとともに、健全な病院運営の実現に向けて、更なる改革に取り組まれない。

第1 全体評価

病院機構の平成27年度の業務実績については、「順調に進んでいる」、「概ね年度計画どおり」と評価できる項目が多いが、赤字決算となったこともあり、財務内容の改善に向けては未だ多くの課題が残っていると云わざるを得ない状況にある。

高齢化に対応した医療の提供に関しては、平成26年度から引き続いて地区医師会と連携した在宅医療を推進されるとともに、準無医地区への巡回診療の開始などの取組が進められた。また、医師をはじめ医療従事者の確保が困難な中で、府中市民・府中北市民両病院間での診療支援や人事交流を進めるなど、中山間地域の医療を支える両病院の診療機能維持に努めてこられたことは評価できる。

一方で、過去の評価委員会において常に指摘してきた「市からの繰入に過度に頼らない強靱な経営基盤の構築」については、この間の病院機構の努力にもかかわらず成果を挙げるには至っていない。平成27年度決算においても9,200万円余の赤字となったことについては、府中市民病院新病棟の建設・移転、また、電子カルテシステム導入に係る研修等の費用の増があったにせよ、委員からは将来を見据えた抜本的な改革を求める意見も表出された。病院機構におかれては、こうした指摘を真摯に受け止め、様々な角度からのシミュレートを実施した上で、収支改善に向けたPDCAサイクルを確立していくとともに、市との連携を密にし、市とともに病院の更なる発展について検討されるよう、強く望むものである。

加えて、病院機構の情報発信機能を強化し、病院機構の現状や各病院での取組などについて地域住民への積極的な情報提供を進めることで、地域との相互協力体制の構築を図ることこそ、地域から愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに必要な取組であることを申し添える。

なお、今回の業務実績の評価に当たっては、病院機構の自己評価とは異なる評価とした項目が12項目あり、その多くが評価点を下げたものであるが、これは、第2期中期計画の推進に当たり、第1期の期間中に達成できなかった項目・内容の検証を行い、これまで以上の取組を進められていくことを期待してのものであり、病院機構におかれては、引き続き、取組の推進及び加速化を進められたい。

また、病院機構の業務実績報告及び自己評価については、評価の客観性、透明性、病院機構内外への説明責任を果たす観点から、計画との比較など具体的な内容の記載を行うなどの改善に努めるとともに、本評価委員会においても、今後の病院運営に資する評価となるよう評価基準の見直しの検討を行うことを付記する。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

平成27年度年度計画の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階で、次のとおりである。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

平均2.8点 **A評価**

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

平均2.5点 **B評価**

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

平均2.5点 **B評価**

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

平均3.0点 **A評価**

第5 予算、収支計画及び資金計画

※ 財務諸表及び決算報告書を確認

第6 短期借入金の限度額

※ 資金の短期借入は行われていないので、評価なし

第7 剰余金の使途

※ 剰余金が発生していないため、評価なし

《参考》

S評価…進捗状況は優れて順調

C評価…やや遅れている

A評価…順調に進んでいる

D評価…遅れている

B評価…概ね計画どおり

2 小項目評価

別冊「平成27年度の業務実績に関する評価結果【小項目評価】」を参照

【大項目評価に係る小項目評価の集計結果】

大 項 目							大項目評価 (平均点)
中 項 目	小項目数	評価5 (5点)	評価4 (4点)	評価3 (3点)	評価2 (2点)	評価1 (1点)	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							A評価 (2.8点)
1 提供する医療の内容	4			4			
2 診療機能の確保	2			1	1		
3 地域医療連携の推進	1			1			
4 医師及び医療従事者の確保	2			1	1		
5 地域住民とともに守る病院づくり	4			4			
小 計	13項目			33点	4点		37点
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							B評価 (2.5点)
1 組織・機構の整備	1				1		
2 職員教育体制の充実	1			1			
3 事務職員の育成	1			1			
4 働きやすい職場環境の整備	1				1		
小 計	4項目			6点	4点		10点
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置							B評価 (2.5点)
1 経営基盤の強化	1				1		
2 収益の確保及び費用の節減	1			1			
小 計	2項目			3点	2点		5点
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置							A評価 (3.0点)
1 病院の建て替えへの対応	1			1			
2 医療機器などの更新	1			1			
小 計	2項目			6点			6点
第5 予算、収支計画及び資金計画							—
※ 財務諸表の確認							
第6 短期借入金の限度額							—
—	1						
小 計	1項目						—
第7 剰余金の使途							—
—	1						
小 計	1項目						—

地方独立行政法人府中市病院機構
平成27年度の業務実績に関する評価結果
【小項目評価】

平成28年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

内 訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	177 人	43 人	220 人
府中北市民病院	64 人	35 人	99 人
法人合計	241 人	78 人	319 人

※職員数は非常勤医師数を除く。

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命

を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(別表)

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> <u>へき地医療拠点病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設・日本呼吸器学会関連施設 ・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 ・日本大腸肛門病学会認定施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床 研修病院・日本消化器病学会 関連施設・日本整形外科学会 専門医研修施設 <u>訪問看護ステーション</u>
所 在 地	府中市鶴飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	60 床 (一般 60 床)
診 療 科 目	内科・外科・整形外科・婦人科・ 耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・ 眼科・精神科	内科・外科・整形外科・婦 人科・小児科・耳鼻咽喉科・ 皮膚科・泌尿器科・リハビ リテーション科

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

第1期中期目標期間の最終年度となる今年度の目標は、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、経常収支比率 100 パーセント以上の達成をすること、また、府中市民病院及び府中北市民病院（以下「両病院」という。）それぞれの診療圏域における役割を明確にし、地域に必要な医療が提供できるよう、次期中期目標の策定に繋がる経営改善に取り組むことにありました。

第1期中期計画期間では、両病院の病院事業の継続性、確実性を図るため、府中市民病院では平成 26 年度までの 3 年間で一部事務職員を除き、広島県厚生農業協同組合連合会（以下「JA 広島厚生連」という。）からの職員転籍を完了し、法人採用の職員体制を確立したことで、両病院間の効果的な人事配置が可能になりました。また、府中市民病院の新病院建築工事も予定通り完了し、平成 28 年 2 月から新病院での業務を開始しています。将来にわたって地域医療を持続するために必要な、人材確保や施設設備の基盤整備ができました。

しかしながら、経営面においては、中期目標期間の最終年度となる今年度も赤字決算となり、経常収支比率 100 パーセント以上を達成できず、97.4%でした。

府中市民病院では、前年度比較で医業収益は約 7,000 万円の増、医業費用は約 1 億 4,000 万円の増となりました。医業費用増加のうち約 9,000 万円の要因は、新病院の建築、移転に係る臨時的経費（引越し業務や誘導警備の委託料、臨時駐車場の賃借料、起債対象とならない物品購入費、電子カルテシステム導入に向けた業務研修に係る時間外勤務手当）や、府中北市民病院からの職員異動（医師 1 名、看護師 1 名、介護福祉士 2 名）による給与費の増加によるものです。府中北市民病院では、前年度比較で医業収益は約 6,000 万円の減、医業費用は約 9,000 万円の減となりました。医業費用の減少要因は、府中市民病院への職員異動による給与費の減少によるものです。

第2期中期目標期間では、病院運営を取り巻く情勢を的確に見据えた両病院の将来

像を確立し、府中地域全体としての地域包括ケア体制構築に努め、また、法人の管理運営体制を強化し、経営基盤の強化を図るための組織改革に取り組む必要があります。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

両病院が有する病床の効果的な活用を図り、高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活への復帰に必要な医療を提供するため、地域包括ケア病床の導入準備を始めました。

府中北市民病院では、在宅における医療と介護の総合的サービス事業として、24 時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を、平成 28 年 4 月 1 日に開設します。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材を弾力的に配置し、効果的かつ効率的な組織体制を実現します。そのため、両病院の各部署の業務量を適正に評価し、全体として効率化を図るなど、職員配置の見直しをさらに進めます。また、第1期中期目標期間に達成できなかった、法人事務局職員の法人採用職員への移行を計画的に行う必要があります。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

将来にわたって、公的な病院としての使命を果たしていくための経営基盤を確保するためには、両病院の診療圏域における役割を明確にし、両病院の将来像を確立する必要があります。また、業務運営や財務管理の見直しと効率化を図るため、事務局体制の強化と事務部門の業務改革に取り組みます。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

平成 27 年 12 月、府中市民病院の新病院建築工事が完了し、平成 28 年 1 月末に移転、2 月 1 日から新病院での業務を開始しました。旧病棟の解体、外構・駐車場整備工事に着手しており、平成 28 年 10 月末に全ての工事を完了する予定です。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

中期目標	高齢者の病気の重症化を防ぎ、在宅における生活の質を高める医療を提供し、さらに終末期における在宅医療にも取り組むこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>・地域住民の高齢化に対応した在宅医療に取り組めます。特に、府中北市民病院については、新改革プランを執行し、上下地域が地域医療のモデルになるよう取り組めます。</p> <p>・地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。今年度から広島県北部地域移動診療車協議会に参加し、医療機器を搭載した車両を地域住民の居宅近くまで巡回させ、住民の受療機会を確保するために、無医地区等への巡回診療事業を実施します。</p>	<p>【府中北】病院の医療機能・資源を最大限に活用し、在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供の具体化として、在宅における医療と介護の総合的サービス事業として、24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の開設準備を進めました。平成28年4月1日、事業所を開設します。</p> <p>【府中】平成27年4月1日に、広島県のへき地医療拠点病院に指定され、同年6月から、月2回、準無医地区の久佐・協和両地区での巡回診療を、広島県北部地域移動診療車を利用して実施しています。</p> <p>H27年度 延患者数 225人</p>	4	3	<p>・24時間対応型訪問介護看護事業の開始は評価できるが開設は平成28年度である。</p> <p>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設準備は評価できるが、結果として開設及び事業開始には至っておらず、実績が年度計画を上回るレベルであるとは言えないため、この評価とする。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(2) 予防医療

中期目標	市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした総合的な予防医療の提供に努めること。																															
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																											
「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の保健事業と連携し、人間ドックや健康診査を行います。市民の健診受診率の向上に対応するため、病院健診の受け入れ者数の拡大を図ります。また、健診結果に応じた保健指導にも取り組みます。 ・病気を予防し、健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。 	<p>【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施し、精密検査が必要な受検者には、当日受診を勧奨しました。両病院とも、健診受診者数の拡大を図りました。特定保健指導について検討しましたが、初期投資費用と職員体制から判断し、実施していません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>健診種別</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">府中市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>307</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>協会健保等</td> <td>640</td> <td>681</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>301</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>1,248</td> <td>1,364</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">府中北市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>96</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>250</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>546</td> <td>611</td> </tr> </tbody> </table>		健診種別	26年度	27年度	府中市民病院	人間ドック	307	319	協会健保等	640	681	特定健診	301	256	がん検診	1,248	1,364	府中北市民病院	人間ドック	96	81	特定健診	250	277	がん検診	546	611	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック検診は順調に行われている。 ・協会健保等、がん検診の受入れ件数増は評価できるが、特定保健指導が実施されていない。 ・件数自体は増えているが、市民に対して病院がどう働きかけたか、また、市民のため何を行ってきたかを具体的に示していただきたい。 ・病院としての具体的な取組内容が不明なため、この評価とする。
			健診種別	26年度	27年度																											
府中市民病院	人間ドック	307	319																													
	協会健保等	640	681																													
	特定健診	301	256																													
	がん検診	1,248	1,364																													
府中北市民病院	人間ドック	96	81																													
	特定健診	250	277																													
	がん検診	546	611																													

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(3) 救急医療への対応

中期目標	地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行うこと。そのため、日常的に地元医師会や消防署と情報交換を行うなどして、救急時の即応体制を培うこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。</p>	<p>・地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。</p> <p>・救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。また、提供する救急医療の内容については、地域住民への情報発信を積極的に行います。</p>	<p>【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。</p> <p>府中市民病院は、外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を継続しました。</p> <p>緊急手術は、今年度32件（前年度57件）行いました。また、両病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度22件（昨年度27件）でした。</p> <p>病院が提供する救急医療の内容についての地域住民への情報発信は、取り組めていません。</p>	3	3	<p>・救急告示病院、輪番制参加病院としての役割は果たしていることは評価できる。</p> <p>・今後は、地域住民への更なる情報発信を行っていただきたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(4) 災害医療への協力

中期目標	災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、防災訓練等にも協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。	<p>・災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。</p> <p>・市が行う防災訓練等に積極的に協力します。</p>	<p>【法人】今年度は、行政からの要請がありませんでした。</p> <p>【府中】災害時の被災者を受け入れるため、新病院のセミナー室に酸素・吸引配管を設置しました。</p> <p>【府中】今年度は、市から防災訓練等の協力要請はありませんでした。</p> <p>今年度も府中市民病院 I C L S コース研修会（患者救命率向上のための実技研修）を開催し、12名の看護師が参加しました。</p> <p>【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しました。</p>	3	3	・公的医療機関として、体制確保・維持に努めるとともに、今後は、病院の持つ専門的な知識・技術を行政や市民に伝えるなど積極的な活動を期待する。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

中期目標	それぞれの診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>・府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を図ります。</p> <p>近隣病院との連携会議を活発化し、同時に府中地区医師会と協議しながら、医療連携の具体的な方向性を検討します。</p> <p>・地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【法人】法人として、府中北市民病院の内科常勤医師1名の退職に対応するため、平成27年4月1日付けで、府中市民病院の内科常勤医師を府中北市民病院へ異動しました。</p> <p>地域医療病院コンソーシアム府中を構成する社会医療法人社団陽正会と法人の連携会議を、毎月の定例会議としています。</p> <p>【府中】平成27年度から毎週2日広島大学病院から内視鏡検査（上部・下部）のため、専門医の診療支援が開始されました。</p> <p>【府中北】府中市民病院から内科常勤医師の異動を受け、常勤医師3人体制を維持しました。</p>	4	3	<p>・専門医制度への対応状況を明らかにされたい。</p> <p>・2病院間での人事交流と常勤医師の確保は評価できる。</p> <p>・医師の病院間の異動により診療体制を維持したこと、内視鏡専門医の招聘は評価できるが、計画を上回ったとまではいえな</p> <p>い。</p> <p>・医療機能維持に努められているが、地域に必要な医療や役割分担等の議論を地域と進めた上で、病院が提供する医療の検討を進めていただきたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

中期目標	府中地域に欠けている医療機能として、行政とともにその再開に努力すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
小児救急医療及び分娩の再開については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。	・広域的な連携体制の中で、2病院が果たすべき役割を検討します。	<p>【法人】両病院とも、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。</p> <p>現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。</p> <table border="1"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>2,478</td> <td>2,371</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>430</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>592</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>89</td> <td>93</td> </tr> </table>	府中市民病院	26年度	27年度	外来患者数	2,478	2,371	子宮がん検診	430	451	府中北市民病院	26年度	27年度	外来患者数	592	529	子宮がん検診	89	93	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療について評価がない。 ・小児救急医療と分娩の再開は現状では困難と思われる。 ・小児救急医療、分娩とも府中市病院機構単独で整備するのはハードルが高く、現状では困難な状況である。他の医療機関との機能分担・連携の下で、府中市病院機構の両病院の役割をしっかりと議論していくとともに、市民に対しても示していくべきである。
府中市民病院	26年度	27年度																					
外来患者数	2,478	2,371																					
子宮がん検診	430	451																					
府中北市民病院	26年度	27年度																					
外来患者数	592	529																					
子宮がん検診	89	93																					

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

<p>中期目標</p>	<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れた活動を行うこと。 加えて、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、高齢者と介護者を一緒に見守る公的サービスを提供しようとする「在宅支援システム」構想の実現にむけて、市とともに取り組むこと。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。</p> <p>在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定したモデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するものです。</p>	<p>・地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築に取り組みます。府中地域保健・医療・福祉連携ネットワークの在宅医療情報共有システムにより、関係機関による情報共有をさらに推進します。</p> <p>・高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室の充実を図ります。</p> <p>地域医療連携室は府中市と連携し、地域包括ケア体制の構築にむけて、医療と介護の連携を図ります。府中北市民病院定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所「ささえ」を開設します。</p>	<p>【府中】平成28年2月から業務を開始した新病院に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の地域包括支援センター）の総合相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設け、両者が連携して対応しています。</p> <p>【府中北】24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開設準備を進めました。平成28年4月1日、事業所を開設します。</p>	<p>4</p>	<p>3</p>	<p>・住民に対する医療と介護の総合的相談の窓口設置は評価できる。</p> <p>・相談窓口の1階設置や訪問介護看護事業所の開設準備に関して、市民に対してどのようなメリットが生じているか、また、病院として何をどう取組んでいるか等の具体的な内容が不明なため、この評価とする。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

中期目標	府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力すること。													
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価										
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント									
広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	<p>・広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。</p> <p>・府中市民病院は「へき地医療拠点病院」として、府中北市民病院とともに、へき地の医療従事者の研修機関となるよう努めます。</p>	<p>【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人社団陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2015」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。しかし、病院群としての臨床研修体制の構築までには至っていません。</p> <p>【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、地域医療研修の研修医・学生の受け入れを行いました。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1153 1489 1316"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>1人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>	実績	26年度	27年度	研修医	1人	1人	学生	1人	5人	2	2	<p>・病院群としての臨床研修体制の構築に至らなかった原因を十分に検証して、今後の取り組みに活かされたい。</p> <p>・学生・研修医の獲得には引き続き努力されたい。</p>
実績	26年度	27年度												
研修医	1人	1人												
学生	1人	5人												

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(2) 看護系大学などとの連携

中期目標	看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	<p>・看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。</p> <p>・府中地域の高等学校及び中学校へ、看護学生に対する奨学金制度の情報提供などを行い、将来看護師を目指す人材育成に努めます。</p>	<p>【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや同学院への講師派遣をしています。</p> <p>また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、県立広島大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。</p> <p>【府中北】地域医療連携室の社会福祉士が、県立三次看護専門学校の学生に対する社会福祉学の講義（5日）を行いました。</p> <p>【法人】年度末時点で、3人の看護学生に奨学金を貸与しています。平成29年度に、2人の採用を予定しています。</p>	4	3	<p>・連携の結果、医療従事者の具体的な確保に繋がったのか。</p> <p>・中学生・高校生への働きかけは評価できる。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

<p>中期目標</p>	<p>患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めること。 また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域住民に信頼される病院づくりを目指して、患者サービスの向上を図るため、患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めます。 また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>・待ち時間の短縮、利便性など患者サービスの向上に努めます。 ・快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設づくりに努めます。</p>	<p>【府中】新病院のレストランは、学ぶ（生活習慣病予防の食事と啓発）集う（高齢者や一人世帯への支援）広がる（地域交流の場所）として、平成28年2月1日から営業を開始しました。 【府中北】1階ロビーを開放し、今年度は、地域住民への院内ミニコンサートを3回開催しました。 【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を実施しており、総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握しています。 【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・患者サービス向上等への取組の具体的な内容を示していただきたい。（レストラン営業やコンサート開催についての住民の反応、患者要望を把握しての具体的な対応・改善内容等）</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(2) 医療安全対策の徹底

中期目標	院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止策を確実に実施します。 ・医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。 	<p>【府中】【府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。</p> <p>【府中】【府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染・医療安全の講習会への参加者の割合は全体の中でどのくらいか。 ・計画達成に向けて計画通り研修されている。 ・感染症対策などの病院の持つ専門的な知識・技術の地域の施設への提供など地域で中心的な役割を果たしていくことを期待する。（院内研修会への参加、病院からの講師派遣等）

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(3) 市民への積極的な情報提供

中期目標	病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p>	<p>・病院運営に関して、地域住民に積極的な情報発信を行います。</p> <p>・病院のホームページや広報紙等により、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p> <p>広報紙の目標発行数</p> <p>【法人】2回</p>	<p>【法人】市の健康&福祉まつりに参加し、両病院の看護師による健康相談を実施しました。</p> <p>【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。地元の夏祭りへの出店や、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しました。</p> <p>【府中北】医師による住民対象の健康教育講座（2回）乳児健診（6回）や、中学生の職場体験2人を受入ました。</p> <p>【法人】新病院の業務開始に合わせ、広報紙をリニューアルし、法人広報紙「ささえ」を、1回発行しました。</p> <p>広報紙の発行数</p> <p>1回</p>	2	3	<p>・評価を「2」としたこと何に何に不十分だったかの記述がない。</p> <p>・一定程度の活動は行われている。</p> <p>・今後、より積極的に情報発信をしていくこと、また、継続していくことを望む。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(4) 電子カルテ導入による医療連携の推進

中期目標					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
	<p>・府中市民病院の新病棟に導入する電子カルテシステムを最大限活用し、府中地区医師会在宅医療情報共有システムや広島県のHMネットの利用により、住民を地域で支えるための医療連携を図ります。</p>	<p>【府中】府中市民病院の電子カルテシステム導入に合わせ、広島県のHMネットへの参加環境を整備しました。</p>	4	3	<p>・平成27年度は環境整備を行った段階。今後、整備した電子カルテ等のシステムを、市民のためどう活用していくかが大事であり、その成果が評価の対象になると思われる。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

<p>中期目標</p>	<p>府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現すること。また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>・病院事業の継続性、確実性を確保し、病院自身の経営企画機能を強化します。</p> <p>・職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材を適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制づくりに着手します。</p> <p>・すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土の醸成を図ります。</p>	<p>【法人】理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。</p> <p>【府中】経営戦略室に専任職員を配置し、経営機能を強化しました。</p> <p>【法人】府中北市民病院の新規事業、「府中北市民病院訪問介護看護事業所ささえ」の開設準備のため、介護福祉士 5 人の院内部署異動を行いました。</p> <p>【府中】毎月の幹部会議で、経営状況の共有化を図りました。</p> <p>【府中北】毎月の定例院内会議で、経営状況や事業実績の共有化を図りました。</p>	<p>4</p>	<p>2</p>	<p>・経営情報の共有化等に取り組まれているが、自律的な運営を目指す組織として、まだまだ改善の余地があるのではないかとと思われるため、この評価とする。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 職員教育体制の充実

中期目標	全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。	<p>・全職員への教育、キャリアアップを支援します。</p> <p>・教育効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>府中市民病院</th> <th>府中北市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>15</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>97</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>124</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>36</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合計（延人数）</td> <td>272</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table> <p>【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しました。</p> <p>【府中北】看護部に、教育担当者を指名し、院内では研修の企画、院外では広島県国保診療施設地域医療学会で研究発表しました。</p>	区分	府中市民病院	府中北市民病院	医師	15	2	看護師	97	46	医療技術	124	18	事務	36	50	合計（延人数）	272	116	3	3	<p>・全職員、学生、研修医等への発表は活発であるが両病院間での連携や交流はあるか。</p> <p>・組織として、全職員のキャリアアップを支援していく体制の整備に努められたい。（職種間、個人間で差が生じないようにして、組織全体でレベルアップしていく体制を目指していただきたい。）</p>
		区分	府中市民病院	府中北市民病院																			
医師	15	2																					
看護師	97	46																					
医療技術	124	18																					
事務	36	50																					
合計（延人数）	272	116																					

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 事務職員の育成

中期目標	医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	・医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	<p>【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っています。今後は、法人として特に計画的な採用・育成が必要になります。</p> <p>※事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>H27年4月</th> <th>H28年4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">府中市民</td> <td>法人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">府中北市民</td> <td>法人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		H27年4月	H28年4月	府中市民	法人	8人	7人	府中市	3人	3人	府中北市民	法人	2人	3人	府中市	3人	2人	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市派遣職員の後継者育成が課題である。 ・市からの派遣職員も含めて、事務職全体のキャリアアップを図る仕組み・支援体制の構築を検討していただきたい。
職員区分		H27年4月	H28年4月																				
府中市民	法人	8人	7人																				
	府中市	3人	3人																				
府中北市民	法人	2人	3人																				
	府中市	3人	2人																				

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

中期目標		職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。 ・働きやすい職場環境の整備として、府中市民病院に院内託児所を開設します。 	<p>【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。</p> <p>【府中】市の運営（業者委託）により平成26年10月に開所した院内保育所「おひさま」（定員8人）を、引き続き新病院の2階に設置しました。</p> <p>平成28年4月からは「おひさま」において病児保育も実施されます。</p>	3	2	・法人がスタートして4年が経過したので、計画にあるような人事評価制度の構築に早急に取り組んでいただきたい。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

<p>中期目標</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ること。 また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討すること。</p>										
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>							
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>						
<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>【法人】法人の経営成績は、両病院の合計で92,868千円の赤字決算となり、経常収支比率97.4%でした。</p> <p>市からの繰入金450,000千円（当初：300,000千円、追加：150,000千円）は前年度比較で30,000千円の増となっている中、黒字決算の目標達成はできませんでした。</p> <p>※経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="1088 1054 1489 1206"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>▲257,570千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲285,298千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲542,868千円</td> </tr> </table>	府中市民病院	▲257,570千円	府中北市民病院	▲285,298千円	法人全体	▲542,868千円	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>・黒字決算が出来なかった主な原因の記述が欲しい。</p> <p>・市からの繰入金の額が大きいのでは。当初と追加の繰入金の額は計画通りか。</p>
府中市民病院	▲257,570千円										
府中北市民病院	▲285,298千円										
法人全体	▲542,868千円										

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

2 収益の確保及び費用の節減

<p>中期目標</p>	<p>診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じること。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減を疎かにしないこと。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>・診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、収益向上に有効な対策を講じます。</p> <p>・柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。</p>	<p>【府中】医事課では、査定減を減らす取組、外来未収金を減らす取組を継続しています。</p> <p>療養病棟 50 床のうち、介護療養病床 12 床を医療療養病床に転換、入院基本料 1 を届けるための職員配置を行い、収益増を図りました。</p> <p>【府中】新病院の移転に伴う備品等の調達にあたっては、来院患者が利用するエリアについては更新、その他の部署については、最小限の更新に努めました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・医療療養病床へ転換し、入院基本料 1 を届けることによる収益の増加額はいくらか。</p> <p>・府中市民病院の新築移転による収入の増減や、患者数の増減はどれほどのものだったか。</p>

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

中期目標	府中市民病院については、建て替えの計画が存在している。この病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約に協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>・昨年度、新病院の設計業務は完了し、一部施設の解体業務も完了しました。今年度は、新病院の建築工事に着手します。建築工事に並行して、新病院の運営が新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、引き続き関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>・病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<p>【府中】新病院は、平成27年12月末に完成し、平成28年2月1日から業務を開始しました。電子カルテシステムを導入しICT地域連携機能を備えた病院になりました。</p> <p>【府中】新病院の機能として、地域包括ケア体制に向けて医療と介護の総合窓口と、食の情報発信のためのレストランを1階に設けました。</p> <p>【法人】新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意しました。また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めています。</p>	4	3	<p>・電子カルテシステムはトラブル無くスムーズに運用できているか。</p> <p>・引越し及び新病院での運営は遅滞なく行われた。</p>

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

2 医療機器などの更新

中期目標	医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施すること。										
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価							
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント						
<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>・医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p> <p>・本年度の投資的経費は、621,900千円を上限目標額とします。</p>	<p>【府中】新病院への投資は、医療連携を推進するための機能、二次救急輪番制病院としての機能、業務の安全性や効率化を高めました。</p> <p>【府中北】データ提出加算に対応できる機能を備えた医療事務システムの更新と、上下地域での新たなサービス事業、24時間定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所の開設にむけ、事業に必要なシステムを整備しました。</p> <p>【法人】本年度の投資的経費は、940,549千円で、新病院への投資が増加し、目標限度額を超過しました。</p> <table border="1" data-bbox="1088 1201 1491 1353"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>投資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>912,597千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>27,952千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	投資額	府中市民病院	912,597千円	府中北市民病院	27,952千円	4	3	<p>・投資的経費が目標限度額を超過した理由は何か。</p> <p>・超過した額の財源はどのように手当てしたか。</p>
内訳	投資額										
府中市民病院	912,597千円										
府中北市民病院	27,952千円										

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成27年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	該当なし	3	—	

第7 剰余金の使途

中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。</p>	<p>・決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。</p>	<p>平成 27 年度決算では、剰余金は発生しませんでした。</p>	<p>3</p>	<p>—</p>	